



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1358 2023年6月5日

### 5月15日～6月15日は「情報通信月間」です

2023年度の情報通信月間は、「デジタル化、変えよう「くらし」と「仕事」の仕組み」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として実施されます。ARIBは、情報通信月間行事として「電波の日記念講演会（6月7日）」、「周波数資源開発シンポジウム2023（7月7日）」を開催します。

### ARIBからのお知らせ

#### 「周波数資源開発シンポジウム2023」開催のお知らせ

一般社団法人電波産業会（ARIB）及び国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）は、7月7日（金）に、「周波数資源開発シンポジウム2023」を共同で開催します。

Beyond 5G / 6Gは、2030年代に導入される次世代の情報通信インフラであり、あらゆる産業や社会活動の基盤となることが見込まれています。我が国の技術や製品がBeyond 5G / 6G時代の社会で役立つようにするには、要素技術を早期確立するだけでなく、具体的なユースケースを想定し、取り組んで行くことが重要です。さらに、持続可能な未来社会に向けては、デジタルツインやサイバーフィジカルシステム（CPS）等を活用し、周波数やエネルギーなどの資源を有効に活用できるエコシステムの構築も重要になってきます。

本シンポジウムでは、「Beyond 5G / 6G時代の無線システムとデジタルツイン」をテーマに、電波政策や技術開発、アプリケーションやビジネス展開、海外動向等について、産学官の専門家による講演を行います。研究者や専門家のみならず、多くの方々のご参加を心からお待ち申し上げます。

#### 記

- 1 日 時： 2023年 7月 7日（金）13時から
  - 2 会 場： 明治記念館 蓬莱の間（東京都港区元赤坂 2-2-23）※オンライン配信  
<https://www.meijikinenkan.gr.jp/>
  - 3 主 催： 一般社団法人電波産業会（ARIB）  
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- 後 援： 総 務 省  
協 賛： 情報通信月間推進協議会

- 4 テーマ： 「Beyond 5G / 6G 時代の無線システムとデジタルツイン」
- 5 定員： 明治記念館 150名 ※予稿集／質疑受け付け有り  
 ズーム・ウェビナー 500名
- 6 参加費： 無料
- 7 申込方法： 情報通信研究機構ウェブサイトよりお申し込み下さい。  
<https://www2.nict.go.jp/wireless/fds/index.html>
- 8 問合せ先： 一般社団法人電波産業会  
 周波数資源開発シンポジウム事務局 担当：松山、<sup>すみの</sup>角埜  
 (Tel:03-5510-8593 e-Mail:[freq@arib.or.jp](mailto:freq@arib.or.jp))

**情報通信月間参加行事**  
**「周波数資源開発シンポジウム 2023」**  
 — Beyond 5G / 6G 時代の無線システムとデジタルツイン —

時間	次第	講師 (敬称略)
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	主催者挨拶	一般社団法人電波産業会 専務理事 児玉 俊介
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省 総合通信基盤局 電波部長 豊嶋 基暢
13:10～ 13:40	基調講演 「最近の電波政策の動向について」 質疑応答	総務省 総合通信基盤局 電波政策課長 荻原 直彦
13:40～ 14:10	講演1 「Beyond 5G / 6G とデジタルツインで実現する無線通信の高度化と Society 5.0」 質疑応答	大阪大学 サイバーメディアセンター 教授 下西 英之
14:10～ 14:40	講演2 「ローカル 5G で変わるモノづくり、広がる Vertical Service」 質疑応答	富士通株式会社 サービスインフラ事業本部 ネットワークサービス事業部 エッジネットワーク部 シニアマネージャー 上野 知行
14:40～ 14:55	(休憩)	

14:55～ 15:25	<b>講演3</b> 「5G から 6G へ ～国際動向と CPS への期待～」 質疑応答	一般財団法人マルチメディア振興センター ICT リサーチ&コンサルティング部 シニア・リサーチディレクター 飯塚 留美
15:25～ 15:55	<b>講演4</b> 「Beyond 5G / 6G 時代のスマートワークプレイス」 質疑応答	コクヨ株式会社 経営企画本部 イノベーションセンター オープンラボグループ 坂口 綾華
15:55～ 16:25	<b>講演5</b> 「次世代無線通信の開発を加速するワイヤレスエミュレータ」 質疑応答	国立研究開発法人情報通信研究機構 ネットワーク研究所 研究統括/ 同 ワイヤレスネットワーク研究センター ワイヤレスシステム研究室 室長 松村 武
16:25	<b>閉会</b>	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

各講演終了後、会場で参加されている方からの質疑を受け付けます。

## ARIB の動き

### 第 39 回理事会を開催

5 月 31 日（水）第 39 回理事会を開催し、2022 年度の事業報告及び決算、規程の改正、第 13 回定時総会の開催等について審議し、事務局提案のとおり可決又は承認され終了しました。

第 39 回理事会において、決定、承認又は報告された事項の概要は次のとおりです。

- 1 2022 年度の事業報告及び決算について  
2022 年度の事業報告及び決算について承認の上、定時総会に付議することとされました。
- 2 公益目的支出計画実施報告書  
毎事業年度経過後 3 箇月以内に内閣総理大臣あてに提出することとされている公益目的支出計画実施報告書について承認の上、定時総会に付議することとされました。
- 3 規程の改正  
就業規則について、ハラスメントの防止措置、就業時間及びテレワークの導入に関する改正が行われました。
- 4 第 13 回定時総会の開催について  
第 13 回定時総会は、2023 年 6 月 26 日(月)午後 3 時 30 分からホテルニューオータニにおいて、2022 年度の事業報告及び決算並びに役員等の選任などを議題として開催することが決定されました。
- 5 その他の報告事項等  
理事の職務執行状況報告、理事会決定に基づき会長に一任された入会承認等の実績報告等が行われました。



第 39 回理事会の様子

## ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP) に出展

電波産業会が事務局を務める第 5 世代モバイル推進フォーラム (5GMF) では、ミリ波普及推進アドホック (ミリ波 AH) が、5 月 24 日(水)から 5 月 26 日(金)までの 3 日間、東京ビッグサイトで開催された「ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP)」(リックテレコム主催) (<https://www8.ric.co.jp/expo/wj/>) に、ミリ波普及推進活動の一環として特別講演及びミリ波 AH 各社の展示を実施しました。

「ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP)」は 2006 年の初開催以来、最新のワイヤレス技術開発の紹介に注力してきた国内最大級の専門展示会です。

開催初日での特別講演では、「5G/ローカル 5G ミリ波普及推進セミナー」と題し、総務省総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室長の増子喬紀氏からご挨拶及び総務省のミリ波普及推進に関する講演に続いて、ミリ波 AH 主査の NTT ドコモ中村武宏氏から、今年 3 月にミリ波 AH が公開した 5GMF 白書「ミリ波普及による 5G の高度化第 1.0 版」(<https://5gmf.jp/wp/wp-content/uploads/2023/03/5g-whitepaper-mmw.pdf>) の内容紹介やミリ波の特性に関する講演がありました。その後、KDDI 総合研究所の林高弘氏、クアルコムジャパンの森下和彦氏、富士通の関宏之氏、エリクソン・ジャパンの本多美雄氏、キーサイト・テクノロジーの宮下一馬氏、VIAVI ソリューションズの寺前セリオ信幸氏及び村田製作所の上田英樹氏が登壇し、各社のミリ波への取組や製品紹介、今後のミリ波利用の展望などを熱く語っていただきました。特別講演は、立ち見も含めて約 300 名の方に聴講いただき、大変な盛況ぶりで、ミリ波に対する関心の高さが伺われました。なお、講演の様子は、6 月 5 日 (月) から 6 月 19 日 (月) までオンデマンドによっても配信される予定です。

展示ブースには、通信事業者に加え、端末、基地局、チップセット、測定器及び RF デバイスの各ベンダー、8 社が参加し、ミリ波の無線機材や各社の取り組みを出展しました。

展示では、①基地局からデバイスまで多様な手段を用いた高周波帯エリア改善技術、②ミリ波対応の携帯端末を始め各種のデバイス、③屋外長距離ミリ波端末及び屋内ミリ波端末プロトタイプ、④オープン RAN テストのニーズに対応するソリューション、⑤ミリ波と sub6 に対応した 5G レピータ、⑥反射角を調整可能なメタマテリアル反射板、⑦フィールド検証に最適なミリ波帯域まで対応のポータブル 5G フィールドスペクトルアナライザ、⑧6G 時代の将来を見据えた高性能半導体デバイス技術など、超高速・大容量通信、低遅延通信の実現が可能で高直進性などのミリ波の特性を生かした製品やソリューションの最新技術が紹介されました。ミリ波導入を検討している企業の技術者や特別講演を聴講した来場者などが



展示ブースを訪れ、展示担当者から詳細な説明を受け、熱心に質問する姿などが見られました。

会期 3 日間で約 700 名の来訪者があり、今後のミリ波普及推進に期待を感じさせる展示会となりました。



特別講演会場の様子



総務省  
増子氏



ミリ波 AH 主査  
中村氏



KDDI 総合研究所  
林氏



クアルコムジャパン  
森下氏



富士通  
関氏



エリクソン・ジャパン  
本多氏



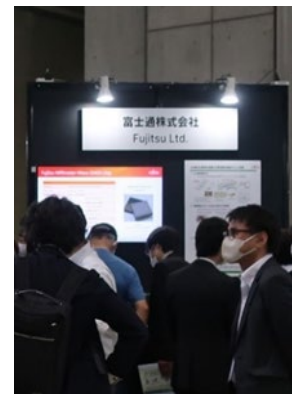
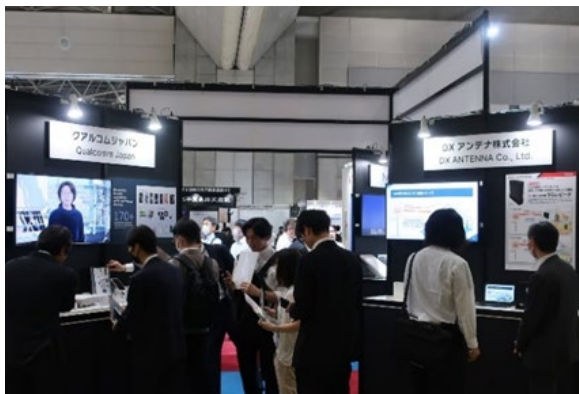
キーサイト・テクノロジー  
宮下氏



VIAMI ソリューションズ  
寺前氏



村田製作所  
上田氏



展示ブースの様子

## アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ第31回会合（AWG-31）の概要

### 1. 会合の概要

AWG（Asia-Pacific Telecommunity Wireless Group）は、アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システムに関する周波数の調和や標準化等について検討を行う会合である。同地域各国の無線技術の専門家が参加し、通常年2回程度開催されています。本会合の議長は Le Van Tuan 氏（ベトナム）です。

### 2. 開催の概要

日 程： 2023年5月22日～26日

場 所： ベトナム・ハノイ（Web会議併用）

参加者： アジア・太平洋地域の主管庁・民間組織・国際機関等から446名が参加。日本代表団として、総務省 国際周波数政策室 土屋泰司係長を団長に83名が参加。電波産業会からは西岡理事、横山次長、加藤担当部長、佐藤（拓）主任研究員が参加

### 3. 主要結果

#### 3-1 IMT 関連

##### (1) 周波数関連

- ① アジア太平洋地域における 7.125 ～ 24 GHz および 92 ～ 300 GHz の利用状況、利用計画に関する報告書「APT Report on current status and future plan of usage in the frequency ranges of 7.125-24 GHz and 92-300 GHz in Asia Pacific region」が完成しました。本報告書には、日本を含め 11 か国の対象周波数帯の利用状況および将来計画について記載されています。
- ② 2025～2030 年の IMT カバレッジと容量改善のための将来のミッドバンド周波数計画に関する新報告案に関して、今回、7 か国から質問票の回答があり、作業文書に取り込みましたが、前回会合に引き続き、全ての内容を審議することができなかつたため、次回会合に持ち越しました。次回会合での完成を予定しています。

##### (2) 技術関連

- ① 24.25 GHz 以上の周波数における 5G 導入に関する報告書「APT Report on 5G implementation in frequency bands above 24.25 GHz」が完成しました。本報告書には、APT 各国の 5G に関する実装・ライセンス・他システムとの共用に関するケーススタディや、フィールドトライアルの結果等がまとめられています。日本からは、ミリ波導入時の 5G と衛星との共用に関する検討結果がケーススタディとして記載されています。
- ② OTA (Over The Air) 測定に関する報告書「APT Report on 5G mm Wave OTA test methodology for user equipment」が完成した。本報告書には、3GPP にて策定されたミリ波の OTA テスト手法の紹介および 3GPP 仕様の参照方法に関するガイダンスが提供されています。

#### 3-2 ITS 関連

今回、日本から ITS 情報通信システム推進会議での検討結果を元に寄与文書を 3 件入力しました。1 つは、作成中のミリ波 ITS の新報告案に対する提案で、継続審議となっていた自動車レーダのテキスト等を完成させるものです。日本寄書の内容を反映した上で、同新報告案は完成し、APT 報告として承認されました。また、日本からは、ITS 用ミリ波レーダ／センサー及びスマートポール等の路車協調 ITS の新作業項目 2 件を提案しました。この提案は合意され、それぞれ新報告の作成作業を開始し、2025 年の完成を予定しています。

### 4. 次回会合

次回 AWG 会合は、2024 年 3 月～5 月に実施される予定であり、場所は調整中です。

## 電波の日・総務大臣表彰において、当会の開発部会が受賞

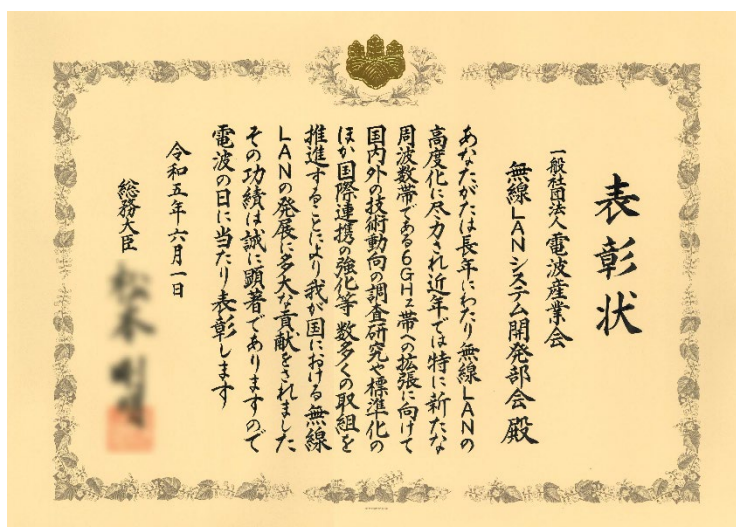
令和 5 年度の「電波の日」（令和 5 年 6 月 1 日）及び「情報通信月間」（同年 5 月 15 日から 6 月 15 日まで）に当たり、6 月 1 日に帝国ホテルで開催された「電波の日・情報通信月間記念中央式典」において、電波利用又は情報通信の発展に貢献した個人及び団体、デジタルコンテンツの今後の創作活動が期待される者に対する表彰が行われ、当会の無線 LAN システム開発部会が第 73 回「電波の日」総務大臣表彰を受賞いたしました。

受賞団体名及びその功績は以下の通りです。



団体名	功績の概要
一般社団法人電波産業会 無線LANシステム開発部会  (委員長 守倉 正博)	長年にわたり無線LANの高度化に尽力し、近年では特に新たな周波数帯である6GHz帯への拡張に向けて国内外の技術動向の調査研究や標準化のほか、国際連携の強化等数多くの取組を推進することにより、我が国における無線LANの発展に多大な貢献をした。

※第73回「電波の日」総務大臣表彰としては他に個人5件の受賞がありました。



### ARIB 内会合（6月5日～6月9日）予定

6月7日（水）： 電波の日記念講演会 オンラインセミナー併用  
 6月9日（金）： 電磁環境委員会総会 Web 会議併用

### 国際会合（6月5日～6月9日）予定

予定している会合はありません。

### 総務省などからのお知らせ

**「Beyond 5G 研究開発促進事業（電波有効利用型）」及び  
 「革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業」に係る  
 令和5年度新規委託研究の公募**

**【令和5年5月31日発表】**

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）は、「Beyond 5G 研究開発促進事業（電波有効利用型）」及び「革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業」に係る令和5年度新規委



託研究の公募を開始します。

詳細については【[令和5年5月31日の総務省報道資料](#)】をご覧ください。

## 外部情報(広告)コーナー

### 《 IoT・AI エンジニアに必須 》

#### 第36回 モバイルシステム技術検定2級のご案内

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M/IoT など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業SE などモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格です。

多くの企業から「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられ、既に83,000人以上の方が受検されています(2023年3月末現在)。

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステムの基礎知識を理解する(基礎)から、モバイルシステムの広範囲な技術者として活躍いただくための2級、さらに高度技術者として応用力を習得する1級、モバイルシステム構築のコンサルタントができるSMCから構成されます。

今回推奨する「2級」は、モバイル通信ネットワーク、モバイル端末(ハード、ソフト)、モバイルコンテンツとサービス、セキュリティなどモバイル関連業務のデバイスからクラウド全体についての検定試験です。

皆様からのお申し込みを、お待ちしております。

【実施日時】 2023年5月19日(金)～2023年7月10日(月)

【募集期間】 2023年5月12日(金)～2023年7月3日(月)

【試験の方式・会場】 CBT(全国330カ所)

【受検料】 ARIB 会員様は割引価格となっております。

2級: 13,200円(税込)

【受検案内の詳細と申し込み先】

[https://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei\\_msg\\_02/](https://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg_02/)

【問い合わせ先】 03-5401-1735(平日: 10:00-17:00)

モバイル&IoTで飛躍する

**MCPC**

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階  
<https://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは



**MPCPC検定事務局**

TEL.03-5401-1735

FAX.03-5401-1937

E-mail:msec@mcpc-jp.org



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013

東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib\_news@arib.or.jp